

パブリックコメント実施結果報告書

平成29年4月25日

担当課	交通政策課
担当者	亀谷 雅俊
連絡先	7641

意見公募のテーマ： 鳥取県東部地域公共交通網形成計画（案）について

①手段別意見応募件数

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等へ	その他の方法	計
()	()	39 (8)	24 (2)	()	63 (10)

②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した	4件	<ul style="list-style-type: none"> ○フリーバスとして、どこでも乗降できる様にすべきだ。最寄りのバス停が集落から離れていて高齢者がしんどいのでバス停を集落の近くに移動してもらいたい。 ○山間地を対象に、タクシーを活用して荷物を末端の集落へ配達する社会実験のようなものがないか。タクシー事業者に物流の一部を担ってもらおうのではなく日本郵政などにタクシーの機能を付加する方法も考えられる。（ヨーロッパの「ポストバス」等）
既に盛り込み済み	44件	<ul style="list-style-type: none"> ○自家用車依存の生活からの転換をいかに図るかが問題。自家用車の利用抑制策を打たなければ公共交通機関利用の働きかけだけでは不十分。特に市街地中心部へのマイカー乗り入れ抑制策を並行すべき。自動車の社会的費用をマイカー利用者に負担してもらわなければならない。 ○車社会になれた県民は、意識として公共交通に対する理解度が非常に低いように思える。 ○「ノーマイカー運動」という言葉を聞かないので、市報や県政だよりの活用やポスターの掲出などにより環境に優しい公共交通機関を利用しようと呼び掛けるべきである。 ○アンケートから短絡的に路線設定が導かれないうより広く開発地域と全体の利益にかなうものにしてほしい。 ○住民組織による運行を進めることはできないか。 ○若桜鉄道について、観光路線の要素を持たせながら住民の足としての復権を図ることが重要である。 ○運転免許返納により困っている中山間地域の住民は、車に乗れなくなったら生活できなくなる。乗合タクシーの時間を決めて発車させたり小型バスを走らせたりして利用しやすいダイヤで運行すべきである。 ○地方交通の維持・地域の活性化・交通弱者対策・免許返納促進のためには、現在のバラバラの運賃の各交通機関を出来るだけ格安にひとつにまとめることは絶対に必要と考える。また、運行時刻や便数も連携のとれたものにしなければならない。
今後の検討課題	11件	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通は、「速さ」（速達性）を満たすある程度の長距離で、かつ渋滞に影響されず自分が自由に移動できる自転車などに接続することが重要と考える。具体策をより詳しく提案してほしい。 ○列車の発着に合わせてバスの運行時刻や車両の大きさも合わせるべきである。乗り継ぎの改善をしっかりとってもらいたい。 ○運行時刻や運行間隔についても運賃と同様のことが言える。公共交通は、公共施設やスーパー、金融機関などの生活に密接な関係施設に立ち寄ることが大前提である。 ○若桜鉄道は、ガタゴトと走るのも魅力の一つだが、線路改良、車両の軽量化、駅の設置などにより住民の足としてどうあるべきか住民と共に考えることが重要である。そのためには駅と集落との間の移動手段の確保、駅への店舗併設、車両への自転車持ち込み、通勤利用を増やすための補助策の検討などに取り組んでほしい。
対応できない		
その他	4件	
計	63件	

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット	報道機関への資料提供	県議会への報告	県民課等での縦覧等	広報誌等への掲載	その他
○			○		